

夢はかなえられたかな

白石第二小学校で自分への手紙発表会

11月1日、「10年後の自分への手紙」の発表会が白石第二小学校で行われました。この手紙は、10年前に創立50周年記念事業として行われたもので、当時の児童が10年後の自分に、その家族が子どもにメッセージを書き記したものです。発表会は代表者が現在の児童と保護者の前で手紙を読み上げる形で行われ、代表のひとり松野綾奈さんは「将来の夢は獣医」と書いた手紙読み上げ「現在は大学で畜産を学び、動物にかかわる仕事をしたい気持ちは変わっていない」と話していました。あて先不明で返送された手紙は大切に保管されていて、学校では連絡を待っています。



▲在校児童の前で手紙を読み上げる代表の親子

収穫の喜びを感じて 交流を深める

第一幼稚園でサツマイモ掘り

10月27日、第一幼稚園の園児たちが園庭で元気にサツマイモ掘りを行いました。同園では、人とかかわる体験の充実を図ろうと、昨年から地域の方との交流を始め、今回が2回目。この日は、本郷第三自治会と亘理町自治会の方16人の手助けを受けながら、5歳児32人がサツマイモ掘りに挑戦しました。園児たちは「大きいおイモがたくさんあった」「いっぱいつながつたおイモや、おもしろい形のおイモが獲れた」と大歓声！両手いっぱい掘ったばかりの大きなサツマイモを抱え、笑顔で見せてくれました。



▲大きなサツマイモを手に笑顔を見せる園児たち

100歳おめでとうございます

制野やすよさんに松竹梅敬老祝金

11月14日、満100歳を迎えた制野やすよさんを風間市長が訪れ、松竹梅敬老金と祝詞を贈り長寿を祝福しました。やすよさんは柴田町のご出身で、結婚後、家業の農業に従事しながら6人の子どもを育てました。現在は孫が11人、ひ孫が15人います。普段の生活は、テレビを見て過ごすことが多く、お気に入りの番組は「水戸黄門」だそうです。ご家族は、やすよさんの長生きの秘訣を「特別なことはしていませんが、三食食べて食後に必ず菌みがきをすること、毎日お風呂に入ることではないでしょうか」と話してくれました。



▲やすよさんの長寿を祝うご家族やご親族の方々

齋藤あきよさんに松竹梅敬老祝金

11月4日、満100歳を迎えた齋藤あきよさんを風間市長が訪ね、松竹梅敬老金と祝詞を贈り長寿を祝福しました。あきよさんは小原のご出身で、結婚後、家業の農業、養蚕に従事しながら6人の子どもを育てました。現在は孫が10人、ひ孫が6人います。ご家族は、あきよさんの長生きの秘訣を「細かなことにこだわらない明るい性格と、無理をしないでのびのびと生活していたことではないでしょうか」と話してくれました。現在は施設に入所中。この日はご家族のほか、入所者や施設職員も集まり、みんなであきよさんの長寿をお祝いしました。



▲あきよさんの長寿を祝うご家族やご親族と施設職員

さらに高い目標へ向かって！

成海選手が国体「空手」種目で4位入賞

10月31日、第69回国民体育大会「長崎がんばらんば国体」の空手道競技少年男子組手個人4位と団体組手5位に入賞した成海諒也さんが市役所を訪れ、風間市長に入賞の報告をしました。成海さんは5歳で空手を始め、小学生の頃から頭角を現し、中学3年生の時には全国中学生空手道選手権で3位入賞するなど、これまでも全国のトップ選手として活躍。ジュニアナショナルチームにも選抜されて来ました。来春、大学へ進学する成海さんは「さらに高い目標へ、一段一段階段を上って行きたいです」と今後の抱負を話してくれました。



▲入賞報告をする成海さん（中央）と指導にあたる我妻師範

団結力で連覇を目指す！

大鷹沢VCが家庭バレーボール宮城県大会で優勝

9月28日、第8回家庭バレーボール宮城県大会が利府町のセキスイハイムスーパーアリーナで開催され、大鷹沢チームが見事に優勝の栄誉を勝ち取りました。同クラブは、3つの地区大会を勝ち上がり県大会に出場。決勝では1セットを奪われたものの、エース伊藤和浩さんらの活躍で平成21年以来の2度目の優勝を飾ることができました。同クラブの佐藤国江監督は「勝因は日ごろの厳しくも楽しい練習から生まれる団結力です。来年は、連覇できるようにこれからも練習を続けます」と充実感あふれる笑顔で話してくれました。



▲優勝カップと賞状を持ち喜びの表情の選手たち

花と緑のまちづくりを応援！

UAゼンセン宮城県支部沢端川植樹会

10月25日、UAゼンセン宮城県支部（富永信明支部長）に加盟する労働組合員とその家族が、旧白石女子高の沢端川沿いに植樹を行いました。この植樹は、本市の震災復興と観光支援のためにと同支部が企画。富永支部長が「本年5月、沢端川に放流した鯉と本日植樹する花木の成長が復興の証になりますように」とあいさつを行い、シダレザクラ2本のほか、ヤマブキとアジサイあわせて170株余りを植樹しました。

同支部では、2年前にも益岡公園にヤエザクラ15本を植樹しています。



▲笑顔でアジサイを植樹をする親子

高齢者が安心して電気を使うために

東北電力・電気工事組合合同奉仕作業開催

11月5日、市内の一人暮らしや高齢者世帯などで東北電力株式会社と電気工事組合の合同による奉仕作業が行われました。この奉仕作業は、社会貢献活動の一環として本年から新たに実施。民生委員などから紹介のあった市内10世帯を対象に、安全に電気設備を利用できるように漏電検査やコンセントの点検をしたり電気設備を清掃したりしました。作業をしてもらった高齢者は「高齢なので目が行き届かなかったが、点検をしてもらって安心しました。手が届かない場所を清掃してもらいうれしい」と笑顔で話してくれました。



▲奉仕作業を行う東北電力職員と仙南電気事業協同組合員